

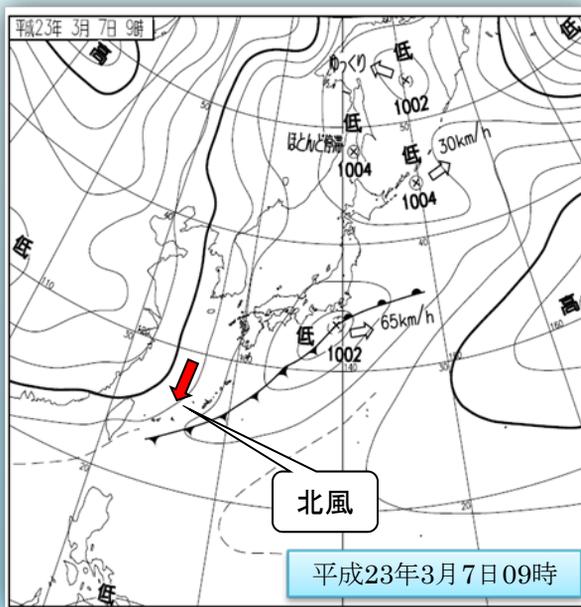
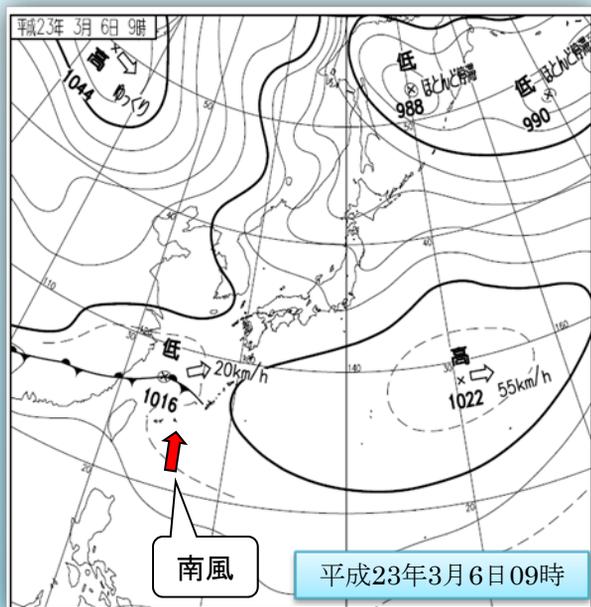
ニンガチ・カジマーイ(2月風廻り) ～穏やかな天気が一変！風の急変など荒れた天気にご注意～

昔から沖縄には**ニンガチ(2月)・カジマーイ(風廻り)**と呼ばれ海の荒れる日があり、漁師たちの間で恐れられてきました。発生時期が旧暦の2月頃であること、また、風の廻り(変化)が早いことからそう呼ばれています。

この時期には、西高東低の「冬の気圧配置」が緩み、移動性高気圧と低気圧が短い周期で日本付近を通過するようになります(天気図参照)。中でも、**沖縄近海で発生した低気圧が発達しながら速い速度で沖縄地方を通過し、北よりの強い風が吹き出し荒れた天気となる**ことがあります。特に海上においては、穏やかな状態から一変して、風の急変で強い風が吹いたり、急激に波が高まってしけとなり、これまでもレジャーボートや漁船等の海難事故が多く発生しています。

気象台では、このような風や波の急激な変化が予想される場合には、注意報・警報のほかに、「**強風と高波に関する気象情報**」を事前に発表します。この気象情報は宮古島地方気象台のホームページから確認できますので、海洋レジャー等を行う場合は、最新の気象情報を十分に確認してから出かけましょう。

ニンガチ・カジマーイの天気図例



○ 3月6日09時(上左図)、先島の北海上にある低気圧を伴った前線は、翌7日09時(上右図)頃、先島地方を通過して天気が急変し、強い北風とともに沿岸の海域では波が高くなりました。

ここ！



気象警報・防災情報は、テレビ・ラジオまたはホームページから

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ

<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先：宮古島地方気象台防災業務課

TEL：0980-72-3054(平日のみ/8:30～17:15)